

令和元年度決算速報

普通会計で、歳入 104 億 4 千 9 百万円、歳出 97 億 2 千 5 百万円となりました。歳入歳出差引額が 7 億 2 千 4 百万円で、実質収支（歳入、歳出の差し引き額から、翌年度へ繰り越す一般財源 3 千 7 百万円を除いた額）は、6 億 8 千 7 百万円の黒字となりました。

(単位：千円、%)

会計別	歳入	歳出	差引	歳出額増減率	
一般会計（繰越分含む）	10,266,027	9,564,383	701,644	12.0	
特別会計	とべの館	36,526	47,474	△ 10,948	△ 2.6
	とべ温泉	49,097	31,827	△ 17,270	1.2
	浄化槽	74,881	103,535	28,654	4.3
普通会計合計	10,448,863	9,724,887	723,976	11.8	

※普通会計決算統計の作成要領により、会計間での取引の振り替えなどを行っているため、一般会計決算書の数値とは合致しません。

普通会計の歳入

町税が減少しましたが、普通建設事業を行うために借入れた地方債が増加したため、前年度より増加しています。

(単位：千円、%)

区分	金額	構成比	増減率
町税	2,051,433	19.6	△ 1.7
地方譲与税	83,065	0.9	9.2
交付金	448,483	4.3	3.1
地方交付税	2,680,545	25.7	1.6
国庫支出金	966,131	9.2	24.2
県支出金	549,027	5.3	△ 2.0
繰入金	411,183	3.9	△ 12.8
繰越金	717,789	6.9	21.0
地方債	1,971,100	18.9	74.0
その他(分担金、手数料など)	570,107	5.5	△ 11.5
合計	10,448,863	100.0	11.0

普通会計の歳出

麻生保育所改築事業や中央公民館耐震・大規模改修事業などによる普通建設事業費などが大幅に増加しています。

(単位：千円、%)

区分	金額	構成比	増減率
人件費	1,558,789	16.0	△ 3.6
物件費	1,527,357	15.7	0.4
扶助費	1,051,281	10.8	2.8
補助費など	1,105,098	11.4	4.1
公債費	587,062	6.0	5.2
積立金	27,786	0.3	△ 74.9
繰出金	932,477	9.6	1.8
維持補修費	117,962	1.2	17.8
普通建設事業費(災害復旧費含む)	2,791,575	28.7	59.6
その他	25,500	0.3	△ 37.8
合計	9,724,887	100.0	11.8

経常収支比率

人件費や扶助費、公債費などの経常的な支出に対し、町税や普通交付税などを中心とする一般財源がどの程度充てられているかを表す指標です。比率が低いほど、自由に使えるお金が多くなります。元年度は 86.8%で、前年度より 1.0%増加しました。

(注) 普通会計の歳出区分の数値は、6 月末時点での速報値であり、今後変わることがあります。

歳出額増減率、増減率、増減額は平成 30 年度決算額との対比です。

その他の特別会計の決算

(単位：千円、%)

会計別	歳入	歳出	差引	歳出額増減率
特別会計	5,531,634	5,125,626	406,008	2.6
国民健康保険事業	2,901,553	2,568,253	333,300	3.4
事業勘定	2,841,253	2,508,050	333,203	3.4
直営診療施設勘定	60,300	60,203	97	1.7
後期高齢者医療	282,775	268,879	13,896	3.9
介護保険事業	2,319,464	2,260,720	58,744	1.8
保険事業勘定	2,271,104	2,212,360	58,744	1.7
介護サービス事業勘定	48,360	48,360	0	7.4
農業集落排水	27,842	27,774	68	△ 12.0

※国民健康保険特別会計(事業勘定)、後期高齢者医療特別会計および介護保険特別会計(保険事業勘定)には、一般会計で計上している人件費を加算しています。

※後期高齢者医療特別会計には、一般会計で実施した後期高齢者の特定健診事業の歳入歳出金額を含んでいます。

公営企業会計の決算

(単位：千円(税込み)、%)

会計別	歳入	歳出	差引	歳出額増減率
公共下水道事業	654,456	744,272	△ 89,816	△ 13.9
収益的収支	307,783	292,515	15,268	6.8
資本的収支	346,673	451,757	△ 105,084	△ 23.5
水道事業	511,890	584,550	△ 184,720	0.0
収益的収支	362,920	334,422	28,498	3.7
資本的収支	86,504	299,722	△ 213,218	14.4

※下水道および水道事業会計の収支不足分については、内部留保資金などで補てんしています。

※下水道事業および水道事業の資本的収支の歳入額には、翌年度繰越充当財源を含んでいます。

町債の状況

元年度の借入額は、中央公民館耐震・大規模改修事業で合併特例債借入額が増加したことなどにより、前年度より増加しています。

また、1年当たりの借金返済額に当たる公債費も、前年度より増加しています。

(単位：千円、%)

区分	現在高	対前年度増減率
一般会計	9,599,936	17.6
	(1,971,100)	74.0
農業集落排水特別会計	125,827	△ 8.1
	(0)	—
公共下水道事業会計	3,702,017	1.6
	(180,300)	△ 16.0
水道事業会計	1,612,648	△ 3.1
	(42,600)	△ 65.1
合計	15,040,428	10.6
	(2,194,000)	49.3

※下段()内の数値は、現在高のうち元年度に借り入れた額です。

※借り入れた町債には、30年度からの繰り越し分も含んでいます。

基金の状況

(単位：千円)

基金の名称	5月末現在高	増減率
財政調整基金	955,716	△ 99,721
ふるさと創生基金	251,873	△ 21,500
ふるさと水と土保全基金	20,542	0
高齢者保健福祉基金	299,587	0
福祉基金	5,439	△ 306
とべの館運営基金	65,525	△ 2,479
とべ温泉運営基金	1	0
奨学基金	30,816	1
浄化槽保守点検事業運営基金	37,908	△ 14,984
浄化槽町有施設管理基金	106,790	5,030
坂村真民記念館基金	8,953	309
公共施設更新準備基金	325,668	△ 256,454
災害対策基金	74,059	22
国民健康保険財政調整基金	0	0
介護保険事業運営基金	160,065	88,007
森林環境譲与税基金	6,686	6,686
合計	2,349,628	△ 295,389